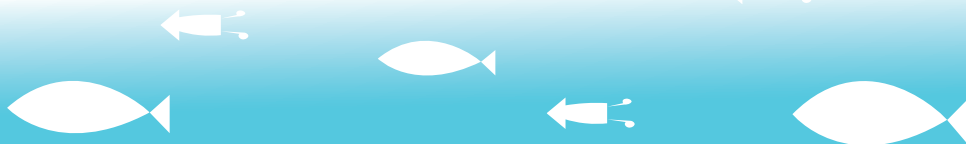


# 勝本浦で なんしよいん？



## ボランティアスタッフ 随時募集中！！

前号の広報誌でもお知らせしましたが、現在ボランティアを募集しています。勝本浦を応援したい方であればどなたでも歓迎です。年齢は問いません。現在、3つのボランティアスタッフを募集中です。

1. こども見守りボランティア
2. 環境整備ボランティア
3. イベント運営ボランティア

登録していただいたら、勝本まち協のボランティア情報を送ります。ご自分の都合に合わせて活動することが可能です。

右のQRコードからスマートフォンで申し込みができます。



## 10月はお祭り！



10月14日（木）は聖母宮大祭、10月15日（金）は港祭りが開催されます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年も規模を縮小して

行われるとのことです。

聖母宮大祭は寛文5年（1665年）にそれまで途絶えていた神幸祭が再興され現在に至っているため、約350年以上の古い歴史があります。一方15日の港祭りは1958年頃の勝本浦の護岸工事の落成式を兼ねて海上パレードを行ったことから始まっています。来年度以降のあり方については今後まち協も加わって協議していきたいと思えます。

## ！ SNS しよいよ！

SNSで勝本浦の情報などを発信しています。フェイスブックとInstagramのフォロワーは合わせて200人を超えました！見ていただいているみなさんありがとうございます。#壱岐や#勝本浦などで投稿していますので、よかったらチェックしてみてください。



Instagram/ インスタグラム  
[instagram.com/katsumotoura\\_town\\_planning/](https://www.instagram.com/katsumotoura_town_planning/)



LINE 公式アカウント  
<https://lin.ee/wUVruvw>



Facebook/ フェイスブック  
[facebook.com/katsumotouratownplanning](https://www.facebook.com/katsumotouratownplanning)



Twitter/ ツイッター  
[twitter.com/gyYZRB5CfDokU22](https://twitter.com/gyYZRB5CfDokU22)



昨年、東京から勝本浦へ移住された、まちこさんのコラムを期間限定で連載します。

子供の夏休みが、残すところ数日。夏休みを振り返り、出かけたところは病院だけだと気付き慌てた私は初めて辰の島に行くことにしました。この町に遥々移住してきたこと自体が一大イベントだったので、壱岐観光をしていないという自覚があまりありませんでした。家からは辰の島が見えます。いつでも行けると思っていた辰の島が近くて遠い島となっていました。離島好きの私にとって辰の島が近いということも移住の大きな決め手となりました。今までは、近場の海水浴場といえば江ノ島や鎌倉。海は大好きだけど、入りたくない。海は見るものとしてとらえていました。そして、ついに本物の辰の島の海を見た息子はあつという間に海水浴デビュー。美しい海と一体化していたのです。この美しい海を守りたい。自然とそういう気持ちになりました。

## この本読んじみらんで？ 5

### 『私の日本地図⑮ 壱岐対馬紀行』

宮本 常一 著

民俗学者の宮本常一は生涯に渡って全国各地の村を旅し、人々の暮らしを記録しました。その中で、昭和20年代から40年代にかけて数回壱岐・対馬を訪れています。

漁業に関心を持ち、勝本では漁業協同組合に都度訪れて、問屋制度から組合への変遷、その当時の漁業の現状などを見聞きした様子が書かれています。文中に出てくる専務理事の話で「・・・(宮本さんから)スルメの中から裂けたものを白糸でぬいあわせてあるのを見つけて大きな声で怒鳴られましたなア・・・」(!)というエピソードがあり驚きましたが、こういったことなどが品質の向上への契機となり今があることに思いをはせると感慨深く感じます。

※紹介した本は市内図書館のいずれかで配架されています。

読んでみたい方は勝本地区公民館までお問い合わせください。

発行 勝本浦まちづくり協議会 事務局

〒811-5501 壱岐市勝本町勝本浦 211-3 勝本地区公民館内

TEL: 090-9576-7285 email: katsumoto020301@gmail.com

勝本弁で最も特徴的なものの1つは「すい(する)」「見い(見る)」「走い(走る)」「食べる(食ぶい)」など、「い」で終わる動詞だと思います。このように動詞が変化している地域を今のところ知りません。

高校生の時だったか、国語の古典の授業で動詞や形容詞の語中・語尾が「い」に変化する『イ音便』というものを知ったとき、

## 勝本浦の言葉を考えてみた

### 3. 勝本弁はイ音便？

「勝本弁の動詞は”イ音便”たい！」と思いました。イ音便で変化したものの例として「美<sup>い</sup>しき朝」→「美<sup>い</sup>しい朝」、「書<sup>い</sup>きて」→「書<sup>い</sup>いて」などがあります。動詞については「き<sup>い</sup>・ぎ<sup>い</sup>・し<sup>い</sup>」の音が「い」に変化するので、語尾の”る”が変化する勝本弁は一般的なイ音便とは性質が違ってきます。なぜこのような変化が起きたのか、なかなか手がかりが見つかりません。何かヒントがないか、もう少し調べてみたいと思います。